

丸之内だより

國道關門隧道ニュース(1)

鐵道省の關門トンネルとは別に下關一門司間の最短距離、早瀬瀬戸の海底を横斷してスマートな二階式自動車道を通さんとする國道關門隧道の本工事にさきだつて、内務省土木局では、本隧道工事の豫備トンネル及び地質調査のため昭和12年春關門兩端より『豆トンネル』の掘鑿に着手、下關土木出張所の技術隊を指揮して工事を急いでゐたが、豫想された難工事も順調に進み、豆トンネルの延長1097メートルは關門兩端の陸地に歴史的な堅坑掘鑿の一鉄を打ち込んでより満二年、技術隊の苦心漸く酬いられて遂に關門徒歩連絡の喜びを迎へる事になり、5月26日午前10時15分伊藤内務省下關土木出張所長のスキッチにより最後のハツバがかげられ早瀬海底下關側から410.6メートル、門司側から596.4メートルの地點で見事貫通した、鐵道豆トンネルに遅れること7日、關門海底に二度目の凱歌は揚つた。

前日穿穴貫通した國道豆トンネルはこの朝僅かに1メートルの薄壁一つを残すのみ、午前9時過ぎ掘鑿總帥の伊藤所長が掘鑿本部に當てられた門司側工事現場に姿を現はした、双頬は紅潮し兩眼は無言の緊張にキラキラと輝いてゐる、9時30分けたたましく電話のベルが鳴つた「下關側は準備成りました」との報告續いて門司側も用意全くなつた、カチリ！スキッチは入れられた、一瞬ズドンと坑底をゆるがす世紀の轟音！待機した關門兩掘鑿部隊は下關側から、門司側から坑道を浸す溜り

水を蹴つて突進「ワーツ開いた、開いたぞ」「萬歳」怒濤の歡呼が湧いた。貫通地點に立つた下關側住友技師、門司側沖野技師兩主任の劇的握手が結ばれ、お日出度う、が交はされた。

かくて修祓、玉串奉奠、萬歳三唱の後伊藤所長を先頭に渡り初めを行ひ冷酒を酌んで貫通を祝した。

國道關門隧道ニュース(2)

總工費1700萬圓10ヶ年繼續事業として着工する、國道關門隧道の本工事起工式は、いよゝゝ5月12日午前10時半から、下關市舊壇の浦の工事現場で、木戸内相臨席の下に行はれた。式後參列者一同はさきに貫通した試掘導坑(豆トンネル)を潜つて、門司側和布刈工事現場に至り、午後一時から豆トンネル貫通祝賀をかねた本工事起工式の祝宴を催した。

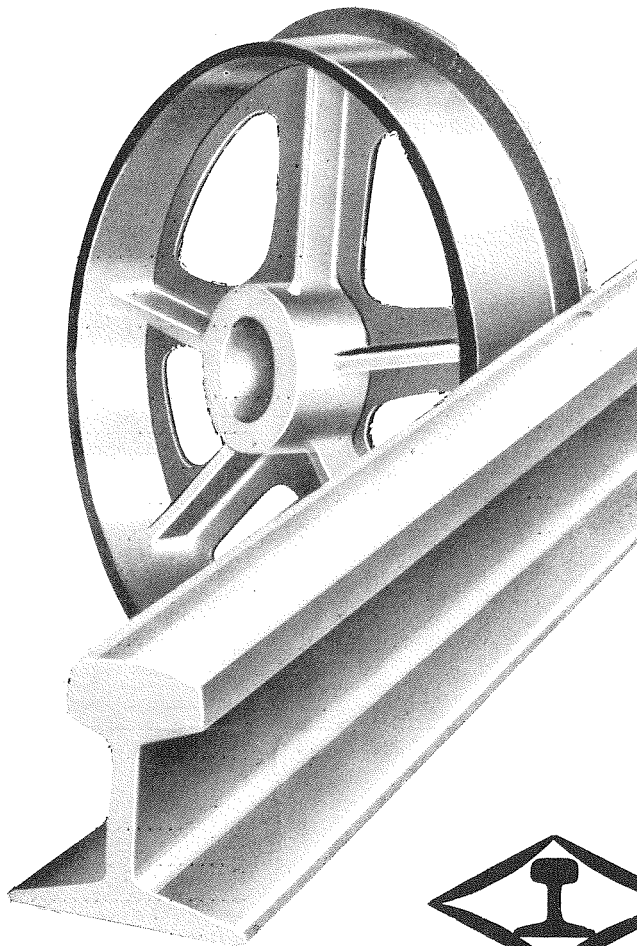
關門國道トンネル工事の總指揮官は、内務省土木局第二技術課加藤伴平技師に決定した。

同技師は大正11年東大土木科卒業、神戸土木出張所勤務、昭和9年本省土木局國道改良課に入り、關門海底隧道を設計した生みの親同年世界の水底トンネル研究のため歐米留學、昨年歸朝した。

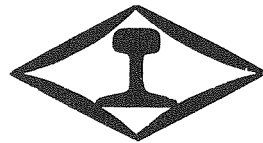
建築學會の學術賞 建築學會昭和14年度學術賞については左記五氏を受賞者に正式決定し、4月14日同會學術大會最終日賞狀、賞牌賞金の授與をなした。

△小學校々舎衛生に關する研究、神戸高工講師伊藤正文△宿驛本陣の研究、元營繕管財局工務部長工學博士大熊喜邦△高層ラーメン並に振動に關する研究、警視廳技師水原旭△構造力學に關する研究、東大教授工學博士武藤清△木材に關する研究 日大講師森徹

土木建築工事畫報 第十五卷 第六號		定價金七拾錢 (稅二錢)	每月一回一日發行 一ヶ年十二冊發行
普通購讀料	昭和十四年五月廿六日印刷納本 昭和十四年六月一日發行	關西支局	
壹部七十錢 稅二錢 參ヶ月四圓 稅共 六ヶ月八圓 同 一ヶ年一十六圓 同 外國一部 八十六錢 稅共	編輯兼印刷發行人 岡崎保吉 東京市豐島區長崎仲町二丁目三六二九	大阪市浪速區惠美須町2丁目13 工事畫報社支局 電話 殘 86 番	
注文は總て前金、送金は必ず振替貯金にて、東京七〇貳六五番宛拂込の事但し、六ヶ月以上の申込は御希望により集金郵便を差出します。	印刷所 共同印刷株式會社 東京市小石川區久堅町百八番地	大賣捌所	
	發行所 工事畫報社 東京市麴町區丸ノ内三丁目六 電話 丸ノ内二六三三番 振替 東京七〇貳六五番	東京堂・東海堂 大東館・北隆館	



各種
レール許チルド車輪
 客車・貨車・蒸氣機關車・ガソリン機關車
 轉 轍 器・轍 叉・轉 車 臺
 其他鐵道並土木用諸機械一式



株式會社 岩崎レール商會

營業所 東 京 市 京 橋 區 築 地 四 丁 目
 電 話 京 橋 (56) 1146-1149 ・ 振 替 東 京 29994 番
 月島工場 東 京 市 京 橋 區 月 島 東 河 岸 通 十 丁 目
 川口工場 埼 玉 縣 川 口 市

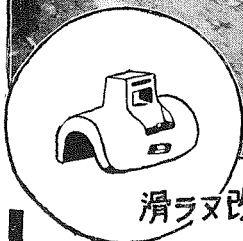
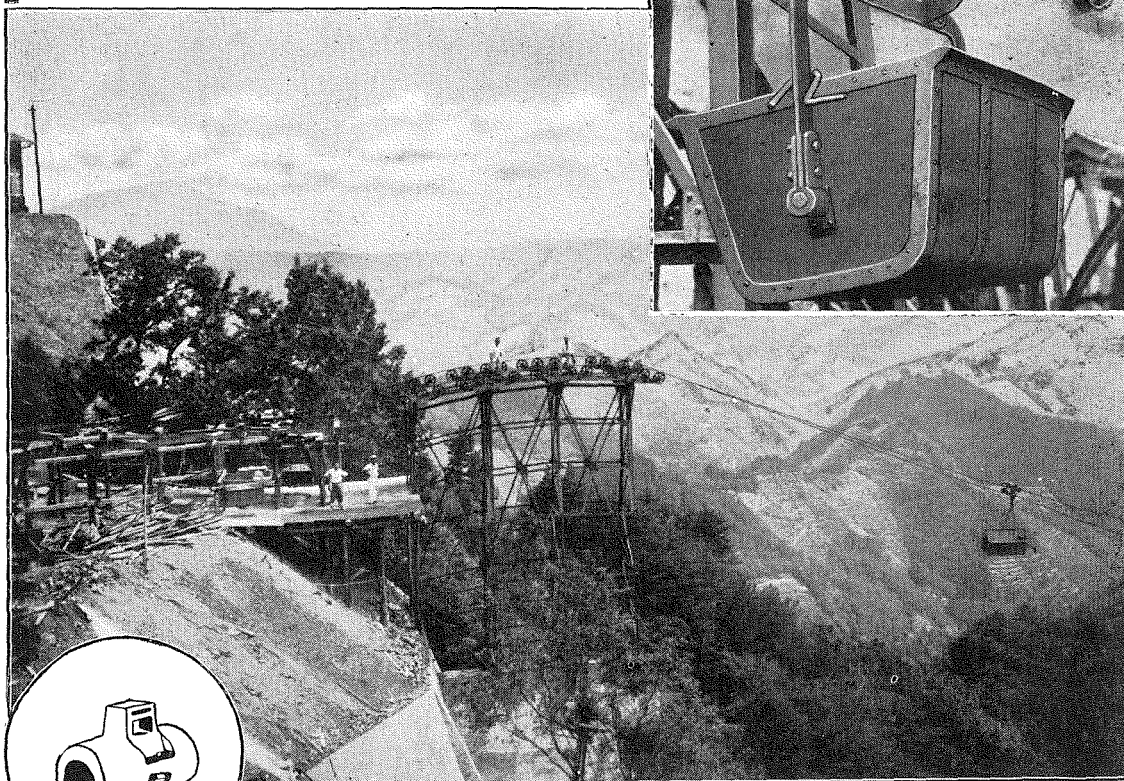
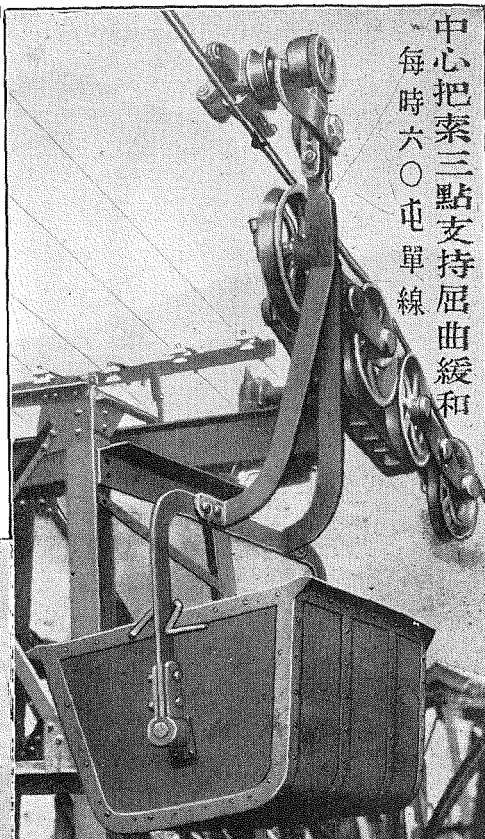
專 賣 特 許

土 持 式 索 道

【カ タ ロ グ 贈 呈】

四 國 ・ 宇 和 島 索 道

中心把索三點支持屈曲緩和
 毎時六〇屯單線



滑ラ又改良鞆鞍

東 京 索 道 株 式 會 社

東 京 市 蒲 田 區 古 市 町 二 九 二 ・ 電 話 蒲 田 4488 ・ 5029 番



株式會社

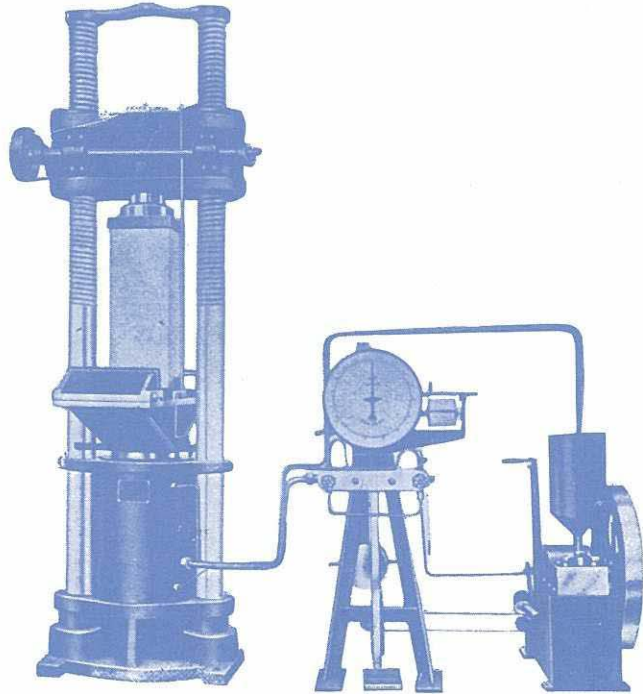
東京衡機製造所

本店 東京市麴町區丸ノ内二丁目六番地
工場 東京市品川區北品川四丁目五一六番地
川崎市久本町八七番地

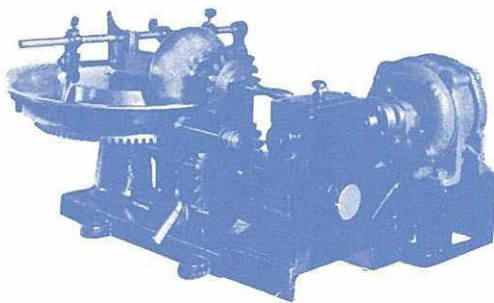
電話九ノ内(23)一七八七番 一九二四番
電話大崎(49)一八八五番
電話溝ノ口二〇一番

營業科目

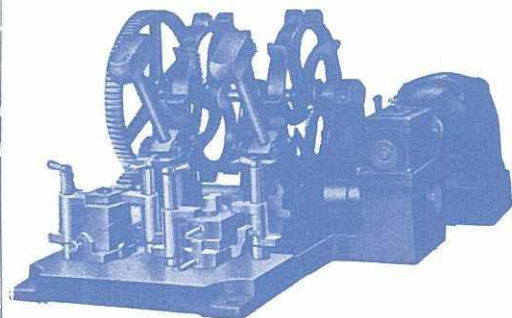
各種動力計	各種材料試驗機	道路材料試驗機	セメント及コンクリート試驗機	試驗機
專賣特許東京衡機自働秤	鐵道及鑛山用貨車掛衡橋	衡器及天秤類一般	高級工作機械類	衡器



東京衡機アムスラー型三百吨耐壓及彎曲試驗機
特許東京衡機式改良振子動力計附



商工省標準「セメント混合機」
(スタインブリックシユメルツァー型)



商工省標準鐵槌機(ペーメマルテンス型)

THE "KOJIGAHO"

AN ILLUSTRATED CONSTRUCTION REVIEW

VOL. 15, NO. 6

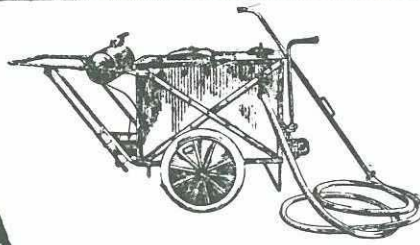
Published Monthly by the Koji-Gaho-sha

Tokyo Japan.

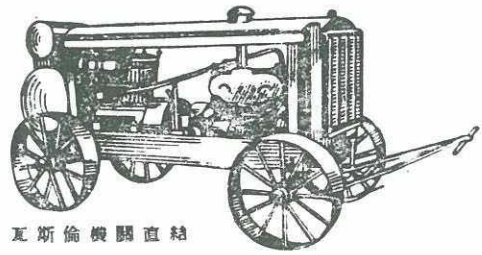
大正十四年七月二十八日第三種郵便物認可
昭和十四年五月二十六日印刷 第 15 卷
昭和十四年六月一日發行(毎月一回一日發行)

土木
建築
工事
畫報
第十五卷
第六號

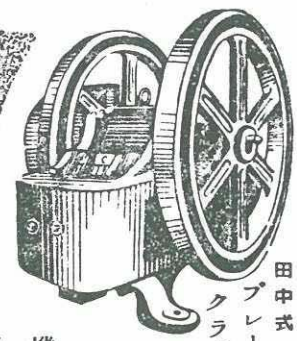
田中 の 土 鑛 機 械



田中式
瀝青乳劑
アスファルト・タール
撒布機

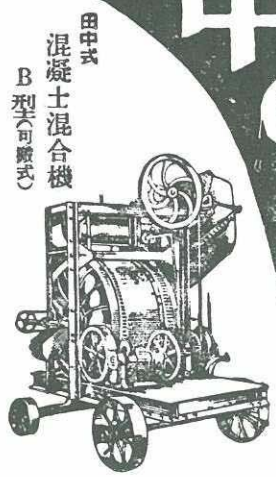


瓦斯倫機關直結
可搬式空氣壓縮機

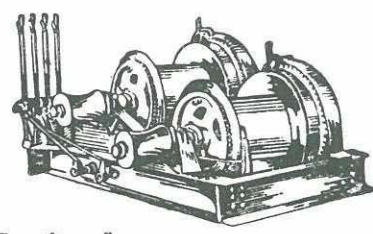


田中式
瓦斯倫機關
道路輓壓機

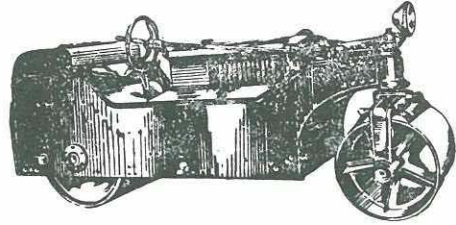
田中式
ブレーキ
クラッシュヤ



田中式
混凝土混合機
B型(大可搬式)



田中式
復胴捲揚機



鑛山土木諸機械一般・道路鋪裝諸機械

田中土鑛機製作所

東京市京橋區京橋三丁目五番地(京橋際)

電話京橋(五五〇九番)
振替口座東京三三六八七番

定價金七十錢
滿・鮮・臺定價七十七錢
(送料二錢)